

開館 30 周年

利根山光人記念美術館

とねやまこうじん
利根山光人

(1921-1994)

茨城県結城市生まれ。メキシコ文化の影響を受けた絵画や壁画を数多く制作。祭りや遺跡をモチーフにしたバイタリティーあふれる描写に定評がある。晩年は、東北をはじめ各地に伝わる民俗芸能を好んで描いた。



「太陽の画家」としてその情熱的な画風で知られる利根山光人画伯は、初めて岩手県を訪れた際に見た鹿踊や鬼剣舞などの民俗芸能に感銘を受け、1974(昭和49)年、立花にアトリエを建てました。

利根山画伯の没後、遺族からアトリエと作品の一部が本市に寄贈され、1996(平成8)年に「利根山光人記念館」として開館。2001(平成13)年には、「利根山光人記念美術館」と改称し、利根山画伯の作品だけでなく、郷土ゆかりの作家の作品も広く紹介する地域に根差した美術館として親しまれています。本年、同館は開館30周年を迎えました。

利根山光人と美術館

イベントインフォメーション

企画展「地の下の挑戦者 金澤隆二展」

- とき…11月29日(日)まで
- ところ…同館
- 観覧料…一般300円、高校生120円、小中学生60円(市内の小中学生は無料)

企画展「メキシコの精霊たち」

- とき…11月21日(土)～令和9年2月7日(日)
- ところ…鬼の館企画展示室
- 観覧料…一般500円、高校生240円、小中学生170円(市内の小中学生は無料)

共同インスタレーション制作

『みんなでつくろう！TONEの山』

- とき…12月11日(金)13時～15時、12日(土)10時～12時
- ところ…hoKko 1階ふれあいホール

インスタレーション作品

『TONEの山』公開

- とき…12月12日(土)12時～17時、13日(日)10時～17時
- ところ…hoKko 1階ふれあいホール

トークセッション「利根山光人と北上」

同館設立のいきさつや利根山画伯と北上との関わり、同館の思い出や企画展など、当時を知る関係者がエピソードをお話します。

- とき…12月12日(土)14時～
- ところ…hoKko 1階ふれあいホール

みんなでアート作品制作

同館では、さまざまな記念事業を実施しています。中でも、「とねやまアートキャラバン」では、市内の学童保育所など4カ所を訪問し、子どもたちと一緒に塗り絵「カラフルとねやま」を制作しました。

完成した塗り絵作品は、今後制作する大きなインスタレーション(※)作品の一部として使われます。12月12日の作品公開日には、開館から30年間の思い出を振り返るトークイベントを開催します。

※インスタレーションとは、物体・映像・光・音などで構成された空間そのものを一つの作品とし、鑑賞者がその場で体感する現代美術の表現形式です。

親しまれる美術館へ

近年は、美術館を飛び出してワークショップを開催するほか、他団体と協力・連携をしながら、事業を展開してきました。これからも市の文化芸術の拠点として、また、アートの楽しさを伝える場として、皆さんに親しまれる美術館づくりに取り組んでいきます。



生成AIによるインスタレーション
作品の完成イメージ



📍 立花15-153-2
☎ 65-1808

■開館時間…10時～16時
■休館日…月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日を休館とする)、12月1日～翌年3月31日



市ホームページ